

2 学力向上アクションプラン

横浜市立南小学校 令和3年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	
自ら課題をもち あたたかい心でかかわっていく 南小の子	
教育課程全体で育成を目指す資質・能力	
<ul style="list-style-type: none"> ○自ら課題を見つけ、進んで解決できる力を育てます。(知) ○あたたかい心で人やものにかかわっていく豊かな感性を育てます。(徳) ○自分の生活を見つめ心と体を鍛え、たくましく生きる力を育てます。(体) ○地域の人やものを大切にし、他者と協働する力を育てます。(公) ○様々な社会の変化に柔軟に対応して行動する力を育てます。(開) 	

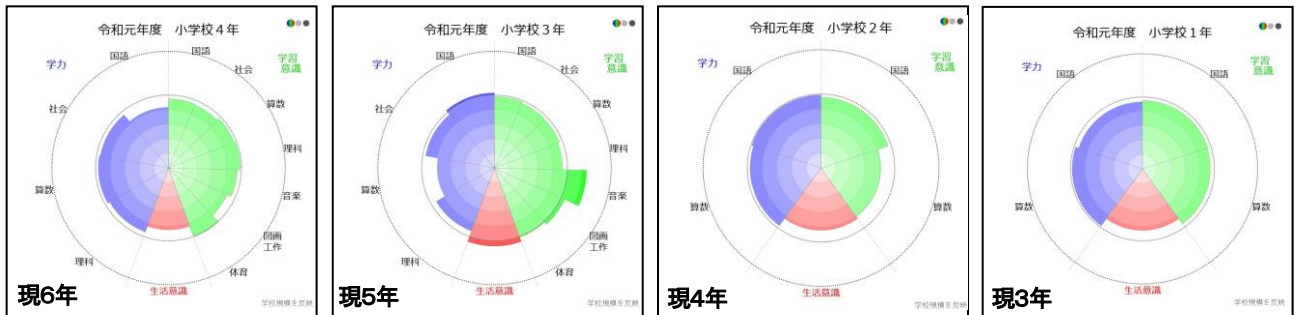
(2) 中期取組目標

中期取組目標	
<ul style="list-style-type: none"> ○子ども一人ひとりのニーズに対応できる、「だれもが」「安心して」「豊かに」過ごせる学校づくりを進めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが自分自身の成長を実感できる授業づくり、考えを表現することを大切にする授業づくりを通して学力の向上を図ります。 ・あいさつを大切に、温かい人間関係を築き、自他を大切にする心を育てます。 ・自分の生活を見つめ、心身の健康づくりを進んで行おうとする態度を育てます。 ・保護者、地域、関係機関に向かって学校を開き、「まち」や「人」との豊かなかかわりを大切にしていきます。 	

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
生きて はたらく 知		<ul style="list-style-type: none"> ①授業のユニバーサルデザイン化を図り、誰もが「わかる」「できる」「楽しい」授業を目指す。 ②共同研の研究テーマを「考えをもつために粘り強く取り組み、よりよく表現し、学び合う子どもの姿を求めて」と設定し、算数科を中心に、学び合うことのおよさや考える楽しさが実感できる授業を目指す。
担当	研究推進委員会	

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握



令和3年度の児童の学力状況を令和元年度の調査結果から見ると、

- 現6年（元年度4年）：国語科以外の教科については横浜市の平均と同等か、やや下回る。国語科は横浜市の平均を下回るが、国語科学習に臨む意識が高い児童も多い。
- 現5年（元年度3年）：算数科が他教科に比べ横浜市平均を下回っている。算数科学習への意識を学力層別にみると、上位層と下位層での開きが大きい傾向。
- 現4年（元年度2年）：国語科は横浜市平均と同等であるが、算数科は横浜市平均を若干下回る。算数科下位層の算数科学習への意識が低いことが、学力に顕著に表れている。
- 現3年（元年度1年）：算数科は横浜市平均と同等であり、国語科は横浜市平均を若干下回る。学習への意識は学力層による違いはあまり見られない。

学校全体として、人と関わることを好む児童が多い。『横浜の時間』を楽しんでいる児童は、学力層に関係なく多い傾向が見られる。多くの人と関わる学習機会を設定することで、意欲的に学ぶことができる児童が増えるものと考えられる。一方で、授業で自分の考えを積極的に発表することに苦手意識をもっている児童が多い。また、学力下位層の児童の自己有用感が横浜市平均を同等ではあるが、低い傾向が見られる。温かい雰囲気の中で、安心してお互いの考えを伝え合う学習を積み重ねていくことで、児童の自己有用感を高めていきたい。

3 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	◆感じたことを言葉にする力	○自分の感じたことを書いたり伝えたりする場面を意図的に設定し、言葉にする機会を増やす。 ○なかよしタイムやさわやかタイム、休み時間等で、体を動かす楽しさを味わえる機会を増やす。	
2年	◆自分の体を大切に にする気持ち	○自分の思いを分かりやすく伝えようとする気持ちを育て、お互いの意見の違いを認め合える学級を作る。	
	◆基本的な生活習慣をつくる態度	○手洗い、うがいをしっかりと行い、衛生意識をもち、好き嫌いをなくいろいろなものを食べようとし、よく運動して健康な体づくりをしようとする気持ちを育てる。	
3年	◆相手の思いを受け止めて聞いたり、話したりする力	○自分の考えをもち、相手に分かりやすいように伝えたり、相手が話したいことを最後まで聞いたりする学習場面を設定する。 ○学級・学年の係や実行委員を通して、お互いの意見を出し合い、友達と協力して最後まで取り組む姿を育てる。	
	◆身の回りや自然への気づき	○友達の考えを自分との相違点を考えながら聞き、お互いの考えのよさを認め合いながら、考えを広げたり深めたりする学習場面を大切にする。	
4年	◆主体性・積極性	○学級の係や学年の実行委員等で、どの子にも活躍の機会を作り、自己有用感を高めていく。	
5年	◆自分の考えをもち、内容を明確に伝える力	○既習事項や生活経験をもとに考え、根拠のある考えを出せるように指導を重ねる。 ○積極的に考えを交流する場を設け、多様な考えを取り入れることが学習の理解につながることに気付かせる。	
	◆生命あるものを大切にする	○子ども同士での学び合いの場を各授業で設定するとともに、相手を意識して自分の考えを分かりやすく伝えるための方法や語彙の指導を行う。	
6年	◆他者を理解する態度・自己を理解する姿勢	○異学年交流や、委員会、クラブなどを通して、最高学年としての意識をもって、人間関係を形成していく。	
個別支援学級	◆身近な事象に積極的に関わる態度 ◆思いや考えを表現する力 ◆自然や文化に感動する心	○児童が楽しく活動を行い、感じたことを素直に話すことができるように、教材や指導場面を工夫する。 ○自分の思いや考えをより具体的に話すことができるように、言葉集めや言葉遊びを多く取り入れて、語彙を増やす。	

